

# 教師ノート

日付	2022年 7月10日
単元	創世記・2
テーマ	忠実にしたがう
タイトル	ノアの箱舟・1ーひとりの正しい人ー
テキスト	創世記 6:1-7:5
参照箇所	マタイ 24:37-25:23、ルカ 16:10
暗唱聖句(教会で使用している聖書訳を記入して下さい)	創世記 6:9
AG 日曜学校教案参照箇所	小上 1 巻 1 題 4 課、小下 2 巻 1 題 5 課、幼 1 巻 2 題 4 課

## メモ(情報・例話など)

今週から2週にわたって、テキストは「ノアの箱舟」についてです。今週は、洪水そのものではなく、「主のところにかなっていた」という、ノアの正しい生き方についてのメッセージです。「神さまは、たとえひとりでも、みことばに従って生きる人がいれば、その人に目を留めて、祝福してくださる」ということを伝えます。この日本において、聞き手である子どもたちは、クラスの中にたったひとりのクリスチャンである可能性が高いのではないのでしょうか。そのような子どもたちが、ノアのように神さまとともに歩み、たとえひとりでも、神さまに喜ばれる生活をしたいと決心できるように、導きましょう。

注)ノアは正しい人だったので、洪水から守られました。しかし、このことが「行いによる救い」という勘違いを招かないようにしましょう。

## □導入

興味を起す質問をしましょう。

例: 正しくないと分かっていることでも、ついつい「みんなもやってるし、まあイヤか」と流されてしまうことはありませんか?ひとりだけ正しいことをするのは、かっこ悪いとか、はずかしいとか、思ってしまうことはありませんか?今日は、当時の世の中で、たったひとり「正しい人」と言われたノアさんのお話をききます。ノアさんはどんな人だったのでしょうか?神さまは、ノアさんにどんなことをしてくれましたか?

📖ノアの箱舟については、絵本や紙芝居、ビデオが多く販売されています。視覚教材を積極的に活用しましょう。小学科下級2巻25~26ページにも、ストーリーの簡潔な説明があります。

## □ポイント1 神さまは地上に罪が増え広がったことを悲しまれました

(6章5~7節)地上に悪が増大してきたと書いてあります。人々は根源的・本質的に悪くなっていました...①人の行動の発端であるところの「心の中」が悪くなっていました②みな、いつも悪いことだけ考えるようになりました。神さまはこのような人々をごらんになって「悔やみ、心を痛められ」ました。これは、非常に強い表現で書かれています。そこで神さまは、人を地上から消し去ることを決心されました。神さまは罪を嫌い、それに対して正しい裁きをされるお方です。

📖創世記1章で、神さまは創造された天地万物を「非常によかった」と言われました。しかしここでは地上をご覧になって、本質的に悪に傾いていると言われました。創世記の著者も意識してこの2箇所を対比したと思われます。ただし、地上が悪くなったのは、神さまの天地創造に不備・欠陥があったからではありません。自由意志を与えられた人間が、それを悪い方に用いた結果です。

## □ポイント2 神さまはひとりの正しい人(ノア)に目を留められました

そんな人々の中にも、神さまからごらんになって「正しい人」がいました。ノアです。ノアは神さまの基準にそって義なる者であり、完全で責められるところのない人でした。またノアは神さまを愛し、神さまとともに歩む人でした。

☞「主の心にかなう」と直接表現される人は、聖書の登場人物でも非常にまれで、ノアの他にはモーセくらいでしょう(出エジプト33:17)。また、神さまとともに歩んだと書かれているのは、ノアの他にはエノクだけです。神さまの心にかない、正しく、神さまとともに歩むことは、すべての人の目指すところですが、ノアは実際にその域に到達した数少ない人のひとりなのです。

神さまは、だれもが悪いことばかりする時代の中で、たったひとりでも神さまに従うノアに目を留められました。ノアに箱舟を作るように言われ、ノアの家族も洪水から救われることを約束してくださいました。神さまは、たったひとり正しい人を見落としたりしません。また、正しい人も悪い人も区別なく乱暴な裁きをするようなお方でもありません。神さまは、公正にひとりひとりの生き方を見て下さっているのです。

## □ポイント3 ノアは神さまのことばに忠実に従う人でした

☞ノアがどんな「正しい」生き方をしたのか、箱舟を建造するようすから探っていきましょう。神さまは、ノアのような人を喜ばれ、守ってくださるのです。

1. ノアは小さいことでも神さまのことばに忠実に行なう人でした。神さまは箱舟の作り方やそれに乗り込む動物のことを詳しく指示されました。14～16節は材料・構造・大きさについての指示です。18～20節は、箱舟に乗り込む人と動物についてです。21節には食事について書かれています。ノアは「すべて神が命じられたとおりに」忠実に箱舟を造りました。他の人なら、自分の考えで、天窓の大きさを変えるなどしてしまったかもしれません。

2. ノアは困難があっても最後まで従いとおす人でした(ヘブル11:7参照)。また、この箱舟建造の作業をしている間、世間の人々が、「そんな洪水あるわけがない」「こんな陸で舟を作るなんて」などと、ノアを嘲笑したであろうということが容易に想像できます。たとえノアが、「洪水が起こるから、あなたも一緒に箱舟に乗ろう」と言っても、だれも信じなかったのかもしれませんが。そんな大雨が降ることや、箱舟で助かるということ、あなただったら信じられたでしょうか？箱舟を造るのに何年かかったか分かりませんが、どんなことがあっても、ノアは神さまのことばに従いとおしたのです。たったひとりでも、ノアは神さまに従う人だったのです。

☆1キュビトは約44センチです。箱舟の大きさや、入っている動物のようすを、こどもたちと一緒に考えよう。また、箱舟を造るノアを、周りの人がどう思ったか、自由に想像してみよう。

## □結論 神さまは、ノアのようにみことばに忠実に従って生きる人をよろこばれます

暗唱聖句を読み上げます

## □適用 (聞き手に最もふさわしい適用が与えられるように祈りましょう)

あなたは、今までに神さまからどんなことを言われましたか？「互いに愛し合いなさい」、「神さまを心から賛美しましょう」など、あなたの心に残っている、神さまの教えがあるはず。そのみことばに、あなたはいつも従っているでしょうか？わたしたちは、みことばに忠実に従う正しい人になりたいと思っても、つつい「みんなもやってるから・・・」とラクな方、悪い方に流されてしまいます。今日、もう一度、みことばに従う決心をしましょう。

また、あなたは普段、どんな状況に流されやすいのかも、考えてみましょう。(クラスみんなが騒いでいると自分も調子に乗ってしまう、みんなにいじめられているお友だちがいても見て見ぬふりをする、礼拝で他のお友だちが歌わない時は自分も賛美しない・・・など)。神さまはノアのようにひとりでも正しい人がいることを喜ばれるのです。神さまとともに歩む人になろう！あなたは神さまに守られ祝福されます。